



水害に備えて

■出水期がもたらす災害

日本では、季節の変わり目に梅雨前線や秋雨前線が停滞し、しばしば大雨を降らせませす。また、7月から10月にかけては、日本に接近または、上陸する台風が多くなり、大雨、洪水、暴風などをもたらします。特に、傾斜の急な山や川が多い日本は、台風や前線の影響による大雨によって、川の氾濫や山崩れ、がけ崩れなどが発生しやすく、人々の生活や生命が脅かされるような自然災害が毎年のように発生しています。

■近年の災害と対策

昨年の台風19号による豪雨により、本町でも避難勧告を発令する事態となりました。この災害の影響は、極めて広範囲にわたり、河川の氾濫やがけ崩れ等が全国的に発生し、多くの方が犠牲になるなど、甚大な被害となるものでした。

被害を最小限に留めるために地域住民にできることは、日頃の訓練と防災意識の高揚が必要です。

■水害対策としてマイタイムラインを作成しましょう

町では水防計画書を作成し、洪水対策を行うこととするほ

か、町民に配布した水害ハザードマップに掲載されるマイタイムラインの積極的な活用を推進しています。

マイタイムラインは、住民一人ひとりの行動予定表で、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列に整理し、あらかじめまとめておくものです。時間の制約が厳しい洪水の発生時に、行動のチェックリストとして、また、避難判断のサポートツールとして活用されることで、「逃げ遅れゼロ」に向けた効果が期待されますので、ぜひ作成してください。



■非常時の持ち出し品の準備を水害等の災害時に慌てないためにも、日ごろから、持ち出し品の確認をして万が一の場合に備えましょう。

○災害時の非常持ち出し品

〈参考例〉

- ・食料品
3日分程度の食料品（乾パ

ン、ビスケット、缶詰など加熱しないで食べられるもの

・飲料水

3日分（目安は1人1日3ℓ）

・救急セット

消毒薬、傷薬、かぜ薬、胃薬、ガーゼ、包帯、ばんそうこう、脱脂綿、はさみ

・感染予防品

マスク、アルコール消毒液、体温計、石けん

・衣類

衣類類（体温調節ができるようなもの）、下着、タオル、軍手、靴下

・日用品

ティッシュ、懐中電灯、電池（予備も含めて）、携帯ラジオ、缶切り、マッチ、ナイフ、生理用品、トイレットペーパー

・その他

現金、印鑑、預金通帳、権利証、健康保険証、粉ミルク、ほ乳瓶、紙おむつ、薬、お薬手帳

・あると便利なもの

アルファード化米（水だけで戻せるお米）、チョコレートやキャラメル（糖分補給のため）、調味料（塩は脱水防止のため）、酢は疲労回復のため）、ウェットティッシュ（止血、洗浄などのため）、

粘着テープ、キッチン用ラップ、ごみ袋、スリッパ、洗面用具、使い捨てカイロ、カセットコンロ、紙コップ、紙皿



河川の避難判断水位及び氾濫危険水位の見直しに伴うタイムラインの改定について

利根川（栗橋地点）及び江戸川（西関宿地点）の基準水位の見直しが次のとおり行われました。

○利根川（栗橋地点）

- ・避難判断水位 8.1m ↓ 6.9m
- ・氾濫危険水位 8.9m ↓ 8.8m

○江戸川（西関宿地点）

- ・避難判断水位 8.6m ↓ 7.9m
- ・氾濫危険水位 8.9m ↓ 8.7m

これに伴い、広報紙と合わせて本町タイムライン改訂版を配布しますので、水害ハザードマップの更新をお願いします。

また、改訂版は、町公式ホームページからダウンロードすることもできます。

○お問い合わせ

生活安全課 ぐらし安心G
☎(84)3618（直通）